２０１９年度　委員会・地区支部　活動報告書

串木野・日置地区支部　　支部長：迫田修幸

活動目標	・地区支部総会を年１回、地区支部研修を年３回は開催し、地区支部会員の社会福祉士としての資質の向上や会活動に対する理解・意識の向上が図られるように努める。 ・鹿児島県社会福祉士会（以下、「会」）に入会していない社会福祉士への入会を呼びかけ会員増加を図ることで地区支部活動の活性化や会の組織強化につなげられるよう努める。 ・地区支部会員のみを対象とした活動だけではなく、地域貢献活動（福祉従事者を対象とした研修会の開催、無料相談会の開催等）にも取り組み、福祉従事者や地域住民等への支援や社会福祉士の認知度の向上が図られるよう努める。 ・いちき串木野市・日置市の各協議会・委員会等への委員の推薦依頼があった場合は積極的に対応し、社会福祉士として行政や関係機関へ協力するよう努める。
具体的活動内容	・地区支部総会を年１回、地区支部研修を年３回、それぞれ開催を予定していたが３回目の研修（令和２年３月に開催予定）は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、やむを得ず延期した。一方で、２回目の研修（令和元年１１月に開催）は県介護支援専門員協議会日置支部と初めての合同研修を開催、約９０名の参加があり、当地区支部の存在や活動について周知を図る機会にもなった。役員会は２ヶ月に１回の頻度で開催した。 ・研修等の案内文書を会に入会していない社会福祉士にも送付し地区支部活動に参加してもらうよう努めている（例年に比べ、わずかながら新たな参加者が増えた）。 ・地域貢献活動については今のところ実施していない。
今後の課題	・研修については参加者がさらに増加するよう研修案内を早めに行うことや会員が興味を持ち実践活動に繋げられるような内容の研修の企画・開催をしなければならない。また他の地区支部会員にも研修に参加してもらい会員間の繋がりを広げることに繋げたい。 ・地区支部内に存在を把握できていない社会福祉士もいると思われるので県事務局や会員からの情報提供等を活用し地区支部活動への参加や会への入会につなげる必要がある。併せて、委員会活動へ参加する地区支部会員も増えるよう努めていきたい。 ・地域貢献活動をいまだに実施していないため、今後は取り組んでいく必要がある。 ・新型コロナウイルスの感染拡大防止対策が長期化すれば、研修の開催が一層困難となる。

委員会・研修会等開催状況	主な内容
６月１５日（土）	地区支部総会、懇親会〔日置市伊集院町にて〕
６月１５日（土）	研修会「面接技術・相談援助技術の探求」 （講師：上妻幸治氏【県社会福祉士会会員】） 〔日置市伊集院町にて〕
１１月２日（土）	研修会「みんなが明日から実践できるコミュニケーション技術を学ぼう～理論・アプローチを用いて～」 （講師：岡江晃児氏【大分県社会福祉士会会員】） 〔日置市日吉町にて〕 ※県介護支援専門員協議会日置支部との合同研修
３月１３日（金）	研修会「司法書士による成年後見活動の取り組みについて」 （講師：南竹龍一氏【南竹龍一事務所・司法書士】） 〔いちき串木野市にて〕 ※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため延期